2025年度　事業報告　　施設名　　幼保連携型認定こども園　同朋住吉台こども園

事業年度	定員(人)			児童数(延人数)			充足率(%)	
2024年度　事業報告	55 人	1号	15 人	592 人	1号	90 人	1号	50 %
		2,3号	40 人		2,3号	502 人	2,3号	105 %
2025年度　事業報告	55 人	1号	15 人	522 人	1号	119 人	1号	66 %
		2,3号	40 人		2,3号	403 人	2,3号	84 %
ヒヤリハット　A(危険度重)B(危険度中)C(危険度軽)				事故報告　(受診を要した件数)				
A：7件　　B：22件　　C：7件				2件				

延長保育利用人数（延人数）							一時保育	園庭開放他
30分延長		1/1.5時間延長		2時間延長		日割り	(延人数)	(延人数)
342 人		1	人		人	456 人	176 人	14 人
444 人		13	人		人	179 人	365 人	17 人
要望・意見・苦情　報告								
要望：　0件　　意見：　0件　　苦情：　2件								

方基法針本人	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重	≪教育・保育理念≫ 同朋福祉会創立者江川義清の「人は大切。子は宝」の理念をもとに、乳幼児を保育する中、人間尊重と子ども第一主義で子どもの最善の利益を追及し、積極的に福祉の増進を図る	・一人一人を認め大切にした保育を行う ・自分自身、友だち、物を大切にできる気持ちを育てる ・一人一人の人権を尊重し性別や国籍、障がいの有無によって区別することのない保育を行う ・権利擁護の実践・職員の人権尊重教育・個人情報の保護を徹底するため、権利擁護の研修を全職員が受講する ≪チェックリスト年2回≫ ・事故防止・ヒヤリハット事例検討会（随時） ・虐待防止と早期発見に努める≪チェックリスト年3回≫ ・苦情受付、相談体制の整備を行う	・子どもの人権マニュアル見直し ・虐待防止マニュアル見直し ・守秘義務守尊マニュアル見直し ・苦情解決についてのマニュアル見直し ・人権擁護のためのチェックリスト（年２回） ・虐待チェックリスト（年３回） ・人権擁護の研修（３回）	人権擁護に関しての研修は、外部講師を招いたり外部研修に参加したりと積極的に取り組み、職員へのフィードバックも行った。風通しの良い雰囲気環境を整え、子どもたちの人権擁護は関わる職員だけで取り組むのではなく、園全体で取り組むことを心がけた。	引き続き、人権擁護を中心とした外部研修に参加し、職員が子どもたちの関わり方を見直し人権擁護の意識を高めていく。月案会議やケース会議、日々の保育の中で子どもたちの発達などについて話し合い、全職員で共通理解を図ることで、職員が負担とならないようにする。
サービスの質の向上	・サービスの明確化 ・保育内容・質の向上 ・健康及び安全	・保護者アンケート（年間3回） ・保護者と共有保育目標作成、評価（年２回） ・登園時の健康状態把握（随時）　日中検温（1日3回） ・園児一人一人の状態確認（随時）・玩具の見直し、消毒（随時） ・温度・湿度点検（1日3回） ・乳児SIDSチェック（日々） ・安全点検（月1回） ・職員や子どもに対する安全確保指導・研修（年１回） ・月案会議（月1回）・ケース会議（随時） ・保育の見える化（インスタ　ドキュメンテーション　保育参観）	・保護者アンケート（保育・給食計３回） ・個別懇談会（６月）と保護者の方と職員で一年の振り返り ・園児の検温を行う（１日３回） ・玩具の修繕や成長に見合った玩具へ入れ替え ・温度・湿度点検（１日３回） ・午睡チェック（日々）安全点検（月１回） ・月案会議（月１回）ケース会議（年４回） ・保育の見える化（インスタ・ドキュメンテーション）随時 ・保育参加・給食参観（３回）	今年度は、通常の保育参観に加え祖父母対象の参観期間を設けた。園で過ごす様子を見ていただいたり、一緒に遊んでいただき大変喜んでもらえた。また、インスタでは、園の特徴である自然を生かした保育や園での様子、行事の様子などを多数配信することができた。	引き続き、保護者や祖父母対象の保育参観や給食参観を実施し園での様子を見ていただくことで、園に対して安心感を持っていただく。また、インスタは楽しみにしているという声が多く寄せられているので、無理のない範囲で継続していく。
地域との共生	・子育て支援 ・地域との連携 ・世代間交流 ・教育機関との連携	・子育て相談（随時） ・園庭開放や乳幼児子育て応援事業（年96回） ・地域への保育室や運動場開放（地域総会やグランドゴルフ） ・地域福祉センター交流会（年2回） ・地域清掃（年１回）・総合避難訓練（年１回） ・地域の方の園行事の参加 ・小学校１年生との交流会 ・小学校連絡会（年2回） ・トライやるウィーク、ワークキャンプ受け入れ ・5歳児交流会（年4回）	・子育て相談（随時） ・園庭開放や乳幼児子育て応援事業（年９６回） ・地域への駐車場や運動場解放（区社協による住吉台キッチンカーやマルシェ、グランドゴルフ） ・地域清掃（年１回） ・総合避難訓練（年１回）・５歳児交流会（年５回） ・地域の方の園行事の参加 ・小学校１年生との交流会（年2回） ・小学校連絡会（年３回） ・トライやるウイーク受入れ	ふれあいのまちづくり協議会の方々との交流では、笑顔が溢れとても充実した時間を過ごすことができた。トライやるウィークは、卒園児2名を受入れた。子どもたちへの関わり方で悩んだり学んだりし、楽しく参加してもらえた。後日行事にも参加するなど、子どもの成長を楽しみにしている様子が伺え、成長を感じた。	地域の方々との交流やトライやるウィークやワークキャンプの受入れは、両者にメリットがあり、子どもたちの社会体験の機会を支えるとともに、将来の保育人材の育成と地域とのつながりを大切にするためにも引き続き積極的に取り入れていきたい。
人材育成	・職員の質の向上 ・働きやすい環境づくり	・スキルアップのためのキャリアアップ研修受講 ・次世代育成のための実習生受け入れ ・研修計画に基づいた外部研修、園内研修 ・業務確認・成長シートのチェック（年2回）	・スキルアップのためのキャリアアップ研修受講（対象者） ・研修計画に基づいた外部研修、園内研修 ・業務確認・成長シートのチェック（年２回）	キャリアアップ研修や外部研修は受講した職員だけでなく、他の職員も研修内容を会議内で聴くことにより、知識を得ることが出来た。また、今年度はムーブメントセミナーの講師を副園長が努めることになり、園でもプレセミナーが行われ質の向上につながった。	引き続き研修計画に基づき研修を受講することで、保育の質を高め、子どもたちに最善の利益をもたらすようにしていきたい。